

# ■ 出会い・ふれあい・学び合い～みんなで育てる山田っ子～ (山田小学校)

## 1 【活動の趣旨】

本校では、地元特産野菜や近くの漁港などの地域の良さ、地域の人とのつながりを活かして、山田の子たちを育てる活動に取り組んでいる。また、子どもと大人が学び合い・かかわり合い・喜びあい・認め合うことを積み重ねながら、学校と地域が連携し『地域協働合校事業』を進めている。

## 2 【特徴的な活動内容】

### ○「ニゴロブナ稚魚の放流」

山田漁業共同組合の皆さんの協力のもと琵琶湖にニゴロブナを放流する活動を続けている。この活動を琵琶湖の環境を考えるきっかけとし、5年生の琵琶湖環境学習につなげていく。

### ○「室戸台風殉難慰霊式」

本校では、今から86年前の室戸台風で大勢の被害者が出た。地域の方々とともに、全校で持ち寄った花を献花し、歌い継がれた「学友の霊に捧げる歌」を歌う。今年度は、代表児童及び、地域の方々のみ体育館に集まり、他の児童については、教室からのリモートでの参加とした。



【ニゴロブナの放流】

## 3 【実施に当たっての工夫】

今年度は、コロナ禍の対応として、全校児童で集まることを避け、変更可能なものはリモートでの実施に切り替えた。また、学年を集める場合は、一人ひとりの間隔が開けられる体育館を使用するとともに、換気と手の消毒等を実施した。



【室戸台風殉難慰霊式】

## 4 【事業の成果】

校内の掲示板に『地域協働合校コーナー』を充実させたことで、掲示板を見つめる子どもの姿がよく見られた。「〇年になったらこんなことができる！」という声もあり、地域の方とのふれあいを楽しみにしている姿も見られた。また、歩いていける範囲に、漁港、ビニールハウスや農業センター、田畑などがあり、地域の方々の協力のもと、コロナ対策を行いながらも様々な体験を実施することができた。



【リモートでの学習】

## 5 【事業実施上の課題・今後の実施に向けて】

コロナ禍において、高齢の方を学校に招いたり、行事に参加してもらったりすることが大変難しい状況であった。次年度についても、リモートでの実施が可能かどうかなどを十分に検討する必要がある。



【地域協働合校コーナー】